

浸水被害低減効果一覧

令和8年7月17日 レベル4大雨危険警報（浸水害）

下水道施設名	行政区	排水方式	施設容量（㎡）	貯留量（㎡）	貯留率（％）
① 新羽末広幹線	港北、鶴見	ポンプ排水	410,000	76,484	19%
③ 新羽調整池	港北	ポンプ排水	89,000	12,000	13%
⑦ 蒔田雨水調整池	南		22,000	50	0%
⑧ 江川雨水調整池	都筑		17,000	4,240	25%
⑪ 長津田地区東雨水調整池	緑		54,000	280	1%
⑫ 長津田地区西雨水調整池	緑		19,000	100	1%
⑬ 相沢雨水調整池	瀬谷		56,000	10	0%
⑭ 北綱島第二雨水幹線	港北		72,000	57,920	80%
⑯ 戸部雨水幹線	西		11,000	10	0%
合 計			—	151,094	—

25mプールで換算： **403** 杯分を貯留

※25mプール容量イメージ：幅15m×深さ1m×長さ25m＝375㎡

- 1 ポンプ排水方式の下水道施設については、最下流のポンプ施設による吐出量を集計した値を記載しています。
また、ポンプ排水を行いながら貯留しているため、貯留容量を超える値になる場合があります。
- 2 ポンプ排水方式の河川施設については、対象期間内に排水作業を実施し、複数回貯留した場合は、行を分けて記載します。
その他の排水方式については、ピーク水位の計測結果から算出した貯留量を記載しています。
- ※上記1、2の算出方法による値のため、浸水被害低減量は参考値です。
- 3 貯留実績があった施設のみ貯留量を記載しています。